

1. 評価結果概要表

作成日平成 20年3月31日

【評価実施概要】

事業所番号	3670600109
法人名	医療法人 田岡会
事業所名	グループホーム やまびこ
所在地	徳島県三好市池田町シマ717番地1 (電話) 0883-72-5500

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成20年 3 月 21 日

【情報提供票より】(平成20年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	15 人 常勤12人, 非常勤3人, 常勤換算 すいせん 6.375人, ずずらん 7.81人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2 階建ての	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	実費
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 実費
	または1日当たり	1,400 円	

(4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	15 名	男性 2 名	女性 13 名
要介護1	5 名	要介護2	2 名
要介護3	5 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.7 歳	最低 74 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・老人保健施設すこやか
---------	-------------

徳島県 グループホームやまびこ 1

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地から少し離れた民家や畑に囲まれた位置にある。近くには県立総合病院、保育園、大型スーパーなどがあり、生活に便利などところである。利用者の生活の場は2階フロアとなっている。散歩、買い物などにもよく出かけている。利用者の希望にそって母体の医療機関、かかりつけ医、県立病院などとの連携を密に適切な医療支援がなされている。終末期の支援についても、家族や利用者の希望にそえるよう十分な体制ができています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>記録類には不在の職員のサインがあり、会議は全職員参加の工夫をするなど改善されている。緊急対応に対するマニュアルを作成し、定期的な研修や訓練が実施されている。感染症対策の予防、早期発見、対応、薬剤、刃物などの保管方法、取り決めなどが明文化されている。市行政担当者、同事業者との連携は、意見交換や情報提供などをおして協力関係ができています。地域向けのホームだよりにも取り組まれ全て改善されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者、全職員各自で自己評価を行い全体会議を開き、意見を出し合いまとめており、職員研修としても位置づけられ取り組みがなされていた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>平成19年度は1回のみ開催である。自治会から4人、家族2人、利用者2人、管理者、老健施設管理者、法人代表、事務職員等の参加により、ホームのサービス提供の状況や利用の状況、リハビリ、外出、レクリエーション、入浴についての状況や取り組み、自己評価の取り組み、外部評価の報告などが討議され参加者からの意見も記録されている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者一人ひとりの連絡ノートを部屋に置き、職員、家族双方が状況や気づき、要望など記入して有効に活用されている。意見箱も設置されている。面会のたびに意見や要望を聞き、小さなことも記録簿に書き込むとともに全職員で話し合い対応を検討し、家族にも報告し運営に活かしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し回覧板のやり取りもあり、地域の行事にはできるだけ出かけている。利用者の地域の友達が立ち寄りおしゃべりをしたり、利用者がよく行っていた商店の方が訪問してくれている。また近くの神社に散歩に行ったり、買い物や理・美容院に出かけたりと双方向の気軽な交流ができています。</p>

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念を見直し、住み慣れた地域で安心して温かい環境の中で暮らしていただけるよう分かりやすい理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域密着型サービスとしての取り組みについて、全職員で話し合い理念を作り上げ、ミーティングでも唱和している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し回覧板が回ってきたり、地域活動や行事に参加している。法人全体で行う夏祭りには、多くの住民やボランティアの参加があり交流できている。近くの保育園児の来訪や利用者の友人、知り合いのお店の方も立ち寄って話したり、近くの神社に散歩に行ったり買い物に出かけるなど、地域との繋がりを大切にして支援している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価実施の意義を全職員に周知し、全員が自己評価に取り組み、会議を開いて検討、再確認し合い具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の内容はサービス提供状況、利用状況、外部評価の報告、リハビリ、外出、入浴などの状況、レクリエーションなどについて意見交換している。平成19年度は1回のみ開催である。行政または地域包括支援センター職員が参加していない。また、内容は記録されているが、全職員に回覧されていない。	○	運営推進会議は、2ヶ月に1回、定期的に行われ、行政または地域包括支援センター職員の参加を働きかけられた。また、会議内容が全職員に共有されるよう議事録にサインや押印するなどの仕組みづくりが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	広域連合主催のグループホーム事業所研修会が、定期的開催され情報交換の機会がある。行政窓口で報告や相談に出向くなどして連携がとれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	各利用者の連絡ノートがあり、日々の状況、気づきなどを記入していつでも見られるようにしており、家族にも記録してもらっている。面会のない人にも、ホームだよりと写真を添え金銭出納簿の報告など毎月郵送している。利用者の健康など変化があるときは電話ですぐ連絡している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	連絡ノート、意見箱、面会日などの声かけ、内部・外部の相談窓口などを明確にし、家族が意見や苦情を言いやすい体制ができている。どんな意見も記録簿に記入し全職員で検討して、結果を本人にも報告しケアに活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者はできるだけ異動はしないようにしている。離職などがあつた時は、利用者本人と関わる時間を多く取るよう職員間で協力する体制をとり、利用者に不安を抱かせないよう支援している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修は年間の計画を立て2ヶ月毎に実施されている。新人研修は段階的に法人内施設の実践研修や外部の研修など積極的に参加している。地域で行われる各種の外部研修など全職員が参加できるよう配慮されている。研修報告会を実施し全職員が共有できるよう取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入し情報を得ている。地域包括支援センターが実施するケアマネジャーの会や広域連合主催のグループホーム事業所研修会に定期的に参加し同業者との交流や情報交換、相談をして取り組みに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の状況をよく聞いて生活環境を考慮したり、見学してもらって行事に参加してもらうなど他の利用者と一緒に馴染めるよう工夫している。また、家族の協力を得ながら支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりとゆっくりと一緒に過ごす関わりを大切に、話しをする中で風習や時期的な事柄など教えてもらったり、梅干やジャムづくりなどを一緒に行い共に支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	独自の入居判定書を作成し、利用者の状況や楽しみごとなどを把握し、寄り添う中で本人の意向にそった関わりや支援を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成には家族の考えや意向も聞いて、担当者の気づきや意見を考慮し全職員で話し合い、一人ひとりの介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的見直し以外にも、その人の状況変化による見直しが随時行われている。介護計画経過表を毎日チェックする中で、本人の状況把握と計画内容検討を行い、現状に即した見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かして、家族・本人の意向や状況に応じて早期退院、通院や送迎など柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれに馴染みの病院があり、家族と相談の上、職員が付き添い支援している。本人の身体状況に応じて往診も受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所として終末期の看取り介護の指針などを定めており、早い時点から本人や家族に意向を聞き説明をしている。家族、医師、看護師などで繰り返し話し合い、全職員が方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の対応の中で、常に利用者の尊厳について意識し関わっている。また、プライバシーなど個人情報の保護についての内部研修を行い徹底した取り組みがなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や場所は、業務の流れや決まりにとらわれることなく、一人ひとりの状態や気持ちに合わせて支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者と相談して立てている。買い物や下ごしらえ、後片付け等を役割分担して行っている。職員と利用者は一緒に楽しく食事をしながら支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとり、その日の希望によりいつでも対応できるよう支援している。また、お風呂に入りたがらない方には、他の利用者と一緒に誘ってもらうなど工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食堂の床拭き、食後の片付け、食器洗いなど役割としていきいきと取り組んでいた。部屋に花の植木鉢を置き楽しんだり、皆で飾り作りやお習字、おやつ作りなどを楽しんでいる。気晴らしにドライブや遠足、お花見など多くの楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの神社やお店によく出かけたり、隣の老健施設の行事に参加したり、ドライブにも出かけるなど利用者の希望も聞いて、日常的な外出の支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2階にある利用者の生活の場は施錠していない。一人ひとりの思いや行動を常に見守る体制をとっている。ユニット間の往来も自由に生活している。1階玄関も日中は自由に入出入りができる状態となっている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルを整備し、年2回の昼夜を想定しての防火・避難訓練を実施している。消防署や併設の施設と連携を持ち、研修や通報訓練などを行い常に協力が得られるよう働きかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの水分や食事の摂取量などが記録されている。また、水分は、各部屋にもその人にあつた方法でいつでも湯茶が飲めるよう置かれている。栄養のバランスなどについては、併設施設の栄養士から助言指導を受け、一人ひとりの状態にあわせ支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	2つのユニットの共有空間部分の雰囲気に対し変化をもたせ、利用者が気分を新たにしたり、懐かしいものを置き落ち着いた気分が持てる空間にしている。皆で製作した季節感のある作品や楽しい行事の写真を掲示し気持ちの和む空間づくりができています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの居室にはテレビ、思い出の写真、使い慣れた家具などがあり、また、その人の持ち物が使い勝手よく整理されて置かれていて落ち着きと個性のある部屋となっている。		